【劇症型Clostridiumdifficile腸炎に対して結腸全摘術を施行し救命した1例】

CD腸炎は抗菌薬関連性下痢症の15~25%

1中毒性巨大結腸症を伴うもの 、2大腸穿孔や大腸虚血を伴うもの 、3カテコラミン持続投与が必要なショック状態のいずれかを呈するもの

症率はCD腸炎の3~8%と報告されている

腹部CTで大腸の広範囲な壁肥厚および虚血性変化を認めたため劇症型CD腸炎の可能性を考慮し 、下部消化管内視鏡検査により早期診断を得ることができた

ICU管理が必要な重症CD腸炎に対する手術例は保存的加療例に比較して有意に予後を改善した

所らは本邦における手術例14例を検討し死亡率35.7%と報告

予後規定因子として1年齢が70歳以上 、2白血球数増多(≧35 、000/μl)もしくは白血球減少(<4 、000/μl)を認める症例 、3昇圧薬や挿管管理が必要な症例